

令和元年度事務事業評価及び特定分野評価に係る改善計画書

事業名	高等学校等教育資金利子補給事業費				
担当課	教育総務課		課長名	亀井 敏男	
事業の目的と実施内容					
目的	学校教育法に規定する高等学校・大学等に在学する者の保護者が教育資金の貸付けを受けた場合に利子補給金を交付することにより、教育の機会均等に寄与することを目的とする。				
内容・方法	町内金融機関から教育資金の融資を受けた保護者に対して利子の一部を助成する。 【対象者】①町内に住所を有していること②学校教育法に規定する高等学校・大学等に、平成28年4月以降に入学した子の保護者であること③町税を滞納していないこと④他機関の利子補給を受けていないこと。 【対象資金】平成28年1月以降に町内にある金融機関から貸し付けを受け始めた教育資金(子1人につき1契約) 【利子補給上限】2万円				
1 評価結果及び町の最終方針					
自己	改善	一次	改善	二次	—
今後の方向性に係る意見等(最終)			評価結果を踏まえた所管課の対応案		
所管課の方向性のとおり。			中学3年生の卒業前の時期等、機会を捉えて周知を図るとともに、町内金融機関へ、本事業の取り組みについて改めて説明と協力依頼を行う。		
町の最終方針					
改善	中学3年生の卒業前の時期などの周知や、町内金融機関への協力依頼を改めて行うなど、あらゆる機会を捉え周知の徹底を図る。				
2 町の最終方針を実施するための具体的な方法					
項目名	時期(期限)	具体的な改善等の内容			
パンフレット作製	R1.12	制度の内容について、簡潔にまとめたパンフレットを作成。			
金融機関への周知	R1.12～	R1.12に作成したパンフレットを配架していただくとともに、対象者に案内等を行っていただくよう依頼。			
中学3年生(卒業生)の保護者への周知	R2.3	R1.12に作成したパンフレットを中学3年生(卒業生)に配布し周知を行った。			
3 改善後の事業が目標とする成果					
指標の名称 ※原則として評価時と同一	単位	基準年度 (H30)	R1	R2	
利子補給金を交付した件数	人	0	0	2	
目標とする成果の設定理由	令和元年度に金融機関及び保護者に制度の周知を行ったため。				
4 経費等の見込み					
		R1(決算見込)	R2	R3	
事業費(予算) 単位:千円		0	40	40	
概算職員数 単位:人		0	0.016	0.016	

5 改善等工程表																									
項目名 (2 町の最終方針を実施するための具体的な方法と一致)		令和元年度				令和2年度												令和3年度							
	工程名	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
パンフレット作製		→																							
	パンフレット作製																								
金融機関への周知																									
	金融機関への周知																								
中学3年生(卒業生)の保護者への周知				→												→									
	中学生(卒業生)の保護者への周知																								

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]